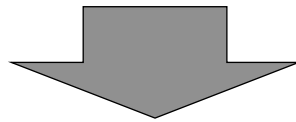


第6期ESD推進計画の策定

第2期ESD国内実施計画を受け策定

- ①持続可能な開発のための教育に関する関係省庁連絡会議（2021年4月）：我が国における「持続可能な開発のための教育（ESD）」に関する実施計画（第2期ESD国内実施計画）（案）
- ②一般社団法人環境創造研究センター（2021年3月）：第6期EPO中部運営企画提案内容（令和3年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務企画書）
- ③中部地方 ESD 活動支援センター企画運営会議（2020年2月）：＜参考資料2＞中部地方ESD活動支援センターの活動方針についての検討（事務局整理案）



中部地方ESD活動支援センター 第6期ESD推進計画（章立てと策定方針案）

- ・計画の位置づけ
第2期ESD国内実施計画に基づき中部ESDC第6期ESD推進活動方針を示す。
- ・課題認識
地方センターに期待される4機能に対する課題抽出を行う。
- ・重点
資料②で提案した第6期の重点を示す。
- ・推進のための戦略
資料②で示した計画提案と今年度の仕様書を踏まえ第6期の戦略を整理する。

中部地方ESD活動支援センター 第6期ESD推進計画（素案） -1

1. 計画の位置づけ

第2期ESD国内実施計画が策定されることを受け、中部地方ESD活動支援センターの第6期（2021年度～2023年度）のESD活動推進の方針と戦略を示す。本計画に基づき各年度において運営委員会の助言のもと、特にEPO中部が担う地域循環共生圏構築（ローカルSDGs推進）のための人づくりを支援するという観点で、中部地方におけるESD活動を推進する。

2. 課題認識 中部地方ESD活動支援センターに期待される4機能に対する実績と課題

①情報共有機能

- ・ ESD推進ネットワーク、学术界、地球温暖化防止活動推進センターなど様々な関係者を通じた情報共有を実施してきた。全国センターと連携し、各地方センターや地域ESD拠点の他、多様なESD関係者と連携した情報共有を強化するとともに、ESDによる人材育成の重要性を普及啓発することが必要。

②ESD活動に関する各種相談対応や連携促進等の支援機能

- ・ 活動プラットフォームとして情報発信、ツール提供、相談対応の実績を積んできている。SDGsチェックリストなどESDツールやメソッド、地域ESD拠点等を通じた人材や手法等、ネットワーク資産を活かし、より地域循環共生圏構築のニーズに沿った支援を行うことが必要。

③ネットワークの形成及び学びあいの促進機能

- ・ 大学生や高校生等のユースの学びあい、自然資産を活かしたESD交流の場などを設定してきた。これらを活かし、より高度な学びあいと社会レベルの実情に沿った広範囲なネットワークの交流の場を拡充することが必要。

④人材育成機能

- ・ ①～③の他、各種講演やワークショップに積極的に人材を派遣やマッチングするなど、人材育成に貢献する支援活動に取り組んできた。これらに加えESDやローカルSDGsなどの専門家との連携をさらに深め、人材育成の枠組みと手法事例を中部地方視点で整理し発信することが必要。

3. 活動の重点 「ローカルSDGsのためのESDの社会実装」に向けて

中部ESDCは環境省EPO中部に付置されているという立ち位置から、教育機関内のフォーマル教育に対する外部からの支援はもちろん、課外学習や生涯学習等のESD推進も重視する。また指導要領の改訂により今後ESDが進展する小中学校だけでなく、それ以上の社会人（特に取り残される可能性がある中小企業）や大学生、高校生などユース世代のローカルSDGs実践の即戦力として期待される対象のESD推進を支援する。

4. 活動推進のための戦略

■ 中小企業のSDGs取組のためのESD促進

- ・ 第5期で作成したSDGsチェックリストを中核としたWSパッケージも活用し、社会人ESDの展開を支援する。また協働コーディネーター等によるSDGs普及促進取組や金融機関との連携によるSDGs教育の展開を支援する。

■ 高等教育（大学、高校）と自治体・企業のSDGs取組におけるESD交流の推進

- ・ 企業や自治体などの実社会のSDGs取組を踏まえた大学生や高校生との交流空間をESDの場として設置し、ユース世代のためのESDネットワークを構築、展開する。

■ 自然資産を活かした学校教育と連携した地域づくりの促進

- ・ ユネスコエコパークのESDダイアログの実績を基盤に、ESDを通じた国立公園、ジオパーク、世界遺産などの自然資本を活用した地域づくり連携の支援を促進する。

■ 「（仮称）中部版ESDワークブック～学生・社会人のための地域社会SDGs実践」の作成

- ・ 取組の成果は、汎用性を持たせたコンテンツとして活用できるように分析するとともに、ツール化、パッケージ化し、「ESDワークブック」として公開、活用することを目指す。
- ・ ワークブックには「持続可能な開発目標のための教育－学習目標－」の8つのキーコンピテンシー（複雑なニーズに応じる能力）の獲得、向上を促す内容を盛り込み、中部地方の事例に基づく様々な場面に対応するパッケージツールとなるよう検討を進める。